

『美馬市医師会 在宅医療啓発のためのフォーラム2017in美馬西部』
11月16午後6時30分から8時45分まで つるぎ町就業改善センターで開催しました

10月の「in美馬東部」に引き続いて開催しました。住民の方31名、医療・介護・福祉の関係者105名、合計136名の参加がありました。



大久保洋一先生



木下雅俊先生



石井孝代様



藤井初美様

平成29年度 在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療啓発のための フォーラム2017in美馬西部

テーマ: 医療・介護関係者と住民のつどい
～高齢者になっても病気でもこの地域で豊かに生きたい

日時: 平成29年11月16日(木) 午後6時30分から8時45分まで
場所: つるぎ町就業改善センター大会議室(つるぎ町貞光宮下61)

プログラム

18:30～
開会挨拶 一般社団法人美馬市医師会会長 谷口博美
御挨拶 つるぎ町長 兼西 茂 様

18:40～
基調講演
「高齢者を総合診療医の立場で診る」
つるぎ町立半田病院 総合診療科
大久保 洋一 先生

19:15
発表
「在宅療養について共に考えてみましょう」
医療法人 木下クリニック
木下医院 院長 木下 雅俊 先生

「いい加減な介護をして思うこと」(ご家族)
つるぎ町半田 石井 孝代 氏

「つるぎ町の認知症施策と医療と介護の連携」
つるぎ町長寿介護課・地域包括支援センター
主幹 藤井 初美 氏

20:45 閉会

- ◆主催/一般社団法人 美馬市医師会 多職種連携会議
- ◆共催/徳島県西部総合県民局美馬保健所、美馬市、つるぎ町
- ◆助成/公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

アンケートから

- ◆総合診療医は多職種のいろんな意見を取り入れて共有し、患者のために実行されていることを知り素晴らしいと思った
- ◆総合診療医は患者の生活、人生を考えた治療と一緒に考えてくれるので頼もしい
- ◆地域包括ケアシステムについて詳しく知ることができました
- ◆今後、超高齢者社会へととなっていく上で、自分の立場で何ができるか、どう行動すべきなのかと考えるいい機会になりました
- ◆在宅療養を実現するためには介護力や本人の意欲が必須条件というお話に感銘を受けました
- ◆介護の体験談を聞いて介護の現実がわかった
- ◆体験者のお話は心に残ります

このようなフォーラムに参加できたことはよかった。もっとたくさんの人にこのような機会を提供してほしい……



- ◆さまざまな人の支えがあり在宅介護がなりたっている
- ◆アドバンスケアプランニング、今後活用したい
- ◆多職種の方が集まり意見交換できるのは自分の観点や視点を広げる良い機会となった